

テーマ	①人材育成及び資質の向上について	
質問	(1)令和3年度、貴団体にて(又は他団体と協力して)実施予定の取組みを、出来る限り詳しく教えてください。 (例)死体所見から死因を推定できたり、客観的な検案記録を記載できたりするような法医学的知識を身につけた臨床医の育成を目的とした研修会を、年1回開催している。	(2)課題及び他団体と協力して実施したい取組み案があれば、教えてください。 (例)左記の研修会は、〇〇団体も参加できる内容なので、是非参加してほしい。
香川県医師会	日本医師会が主催して死体検案研修会(基礎)、(上級)を行っており、参加を呼び掛けている。日本医師会が主催して死亡時画像診断(AI)研修会を行っており、参加を呼び掛けている。ただし、コロナ禍においてはWEBでの開催となっている。年1回の「警察に協力する医師の部会(仮称)」連絡協議会および学術総会もコロナ禍で昨年は中止、今年はWEB開催となった。	研修会や講演会を開催するための費用がなく、地域での人材育成が困難である。死体検案を行う医師の身分保障や報酬が未だに明らかでなく、今後新たな医師が参加できる状況にない。
香川県歯科医師会	これまで同様に身元確認研修会の開催を予定している。開催時期は来年の2月または3月頃で、例年どおり香川県警、海上保安部、香川県医師会にもご案内するのでご出席いただければと考えている。今年度の内容は基本に立ち戻って「デンタルチャート作成について」を予定している。	過去にも生島で大規模な災害発生時のシュミレーション訓練が行われたが、実際的な訓練で良かったと思う。死因究明とは少し離れるかもしれないが、今後大規模災害の発生も危惧されることから、あのような実際的な訓練の実施を強く希望する。
香川県警察本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●年に1度、警察学校で若手警察官対象の『検視実務専科』を実施し、法医学医師等の専門分野に精通する方々を招き、法医学的知識、検視に関連する法律、検視の進め方等の教養を実施している。</li> <li>●年数回、監察医務院にて、医学知識や検視技術の向上等を目的に研修を続けている。(R2、3年はコロナ情勢で中止)</li> <li>●例年、年に1度、香川県医師会警察医会における研修会に参加している。</li> </ul>	特になし。
香川大学医学部法医学	日本医師会の死体検案研修会の企画、講師派遣。受講者の見学実習受け入れ。警察庁警察大学校の法医専門研究科への講師派遣、大学研修受け入れ。近畿管区警察学校の検視実務専科への講師派遣。香川県警の検視実務専科への講師派遣。海上保安庁の研修生受け入れ(科目履修生)。香川県医師会警察医会の研修会に講師派遣。郡市医師会の依頼による講師派遣。検察事務官、司法修習生対象の講義への講師派遣。他大学への非常勤講師の派遣。	医師を対象とした研修会では、新規の参加者が少ないこと。
第六管区海上保安本部	法医学研究生として、年間1～2名を香川大学等の大学法医学教室に受け入れていただき、半年間の研修を受けさせている。また、県警の協力をいただき検視実務専科に聴講生として参加させていただいている。歯科医師会が実施している研修会等にも積極的に参加している。	部署によっては、実践機会が少なく、知識の維持が困難である。そのため、団体や医師会が実施する研修会があれば参加したい。
高松地方検察庁	特になし。	特になし。
香川県医師会警察医会	令和3年度、実施予定の取組はない。 (ア)日本医師会主催の①死体検案研修会(基礎編、上級編)、②死体検案相談事業、③死亡時画像診断(AI)研修会、④e-ラーニングに個人で随時参加して知識の更新に努めている。 (イ)令和2年度に香川県医師会員の検案に関する意識調査が実施された。それによると回答者は76%が開業医で、年齢は60歳以上が59%であった。検案に参加した経験があるものが47%、このうち100件以上の検案経験があるものは3パーセントであった。診療科は内科、外科、整形外科で69%が占められ、死亡診断書を書く機会が少ない診療科では検案経験が少なかった。検案を依頼されたら受けるという回答は42%であった。検案経験者の高齢化と新規参入希望者が少ない結果が得られた。	予定している取組み案はない。災害時の総合的実施訓練があれば参加したい。
香川県歯科医師会警察歯科医会	香川県歯科医師会と同内容。	香川県歯科医師会と同内容。
香川県健康福祉部	特になし。	各団体が実施する研修会について、後援や対象者への呼びかけ等を行いたい。

テーマ	②検案及び解剖等の実施体制の強化(資材の確保及び設備の増強)について	
質問	(1) 令和3年度、貴団体にて(又は他団体と協力して)行っている取組みがあれば、出来る限り詳しく教えてください。 (例)災害時における「身元確認マニュアル」を策定し、身元確認時の留意点などをまとめている。同マニュアルに基づいた内容の訓練を〇〇団体と協力して実施している。	(2) 課題及び他団体と協力して実施したい取組み案があれば、教えてください。 (例)有事に備えるために、日頃から関係機関の連携を図る機会を増やしたい。
香川県医師会	日本医師会が主催して死体検案研修会(基礎)、(上級)を行っており、参加を呼び掛けている。日本医師会が主催して死亡時画像診断(Ai)研修会を行っており、参加を呼び掛けている。ただし、コロナ禍においてはWEBでの開催となっている。年1回の「警察に協力する医師の部会(仮称)」連絡協議会および学術総会もコロナ禍で昨年は中止、今年はWEB開催となった。	昨年本協議会で決議した「死体検案の際に実施するCT検査の公費負担拡大」について引き続き他団体と協力して要望していきたい。また、県民に対しての死因究明の重要性の啓蒙は重要であり、各団体で市民に向けた公開講座等が開催される際に広報をさせていただきたい。
香川県 歯科医師会		
香川県 警察本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近年の孤独死や死体取扱数の増加に備え、装備資機材を拡充している。</li> <li>●捜査一課に検視係を配置し、各署で取扱いのある検視現場に共同臨場し、指示・指導等を行っている。</li> </ul>	特になし。
香川大学 医学部 法医学	研究室に保有していない機材は、香川県警の機材(装置)を借用することがある。(ポータブルX線装置など)	CTや薬物分析装置など大型機材の更新は常に課題であるが、改善の可能性が乏しいこと。また、新型コロナウイルス対応として、解剖室の陰圧空調など感染防御対策が十分ではないが、すぐの改善が難しいこと。
第六管区 海上保安本部	特になし。	特になし。
高松地方 検察庁	特になし。	特になし。
香川県 医師会 警察医会	特になし。	特になし。
香川県 歯科医師会 警察歯科医 会	香川県歯科医師会と同内容。	香川県歯科医師会と同内容。
香川県 健康福祉部	国の補助事業を活用した、死因究明のための施設や設備の整備等を行う医療施設の事業に対する財政的支援。	警察や大学法医学教室からいただいた死因究明により得られた情報を取りまとめ、県民への普及啓発資料に利用したい。

テーマ	③その他	
質問	(1)協議会で話し合いたい内容があれば教えてください。(今回の協議会に限らない。)	(2)左記テーマに関わらず、ご意見等があれば教えてください。
香川県医師会	各団体で経験した重大な事案について、共有すべきものがあれば、持ち寄って協議し、資質の向上を図る。また、香川県の特色を生かして取り組むべきテーマを協議する。まずは、チャイルドデスレビュー(CDR)について、本協議会でサポートできる事柄を検討する。	令和3年3月に総務省行政評価局から「死因究明等の推進に関する政策評価書」が出されている。死因究明の現状と問題点、今後の方向性について詳細に検討されており、ぜひ本協議会の各団体にも配布し、情報を共有していただきたい。
香川県歯科医師会		
香川県警察本部	新型コロナウイルス感染者の検視に関する協力体制について。	
香川大学医学部法医学	検案に従事する医師の視点から、課題と思われる事項の抽出と検討。	協議会の成果をどのように出すか。
第六管区海上保安本部	特になし。	特になし。
高松地方検察庁	特になし。	特になし。
香川県医師会警察医会	特になし。	特になし。
香川県歯科医師会警察歯科医会		
香川県健康福祉部	特になし。	特になし。

テーマ	④厚生労働省担当者への講演内容への要望
質問	(1)厚生労働省担当者の講演について、説明を希望する事項がありましたら教えてください。
香川県医師会	第1回の本協議会で、厚生労働省担当者様から死因究明により得られた情報を公衆衛生の向上及び増進のために活用するとの御意見をいただいた。その後の、具体的な取り組みについて進捗状況も含めて御説明をお願いしたい。
香川県 歯科医師会	
香川県 警察本部	特になし。
香川大学 医学部 法医学	死因究明推進計画は具体的にはどのようにすすめられているか。
第六管区 海上保安本 部	特になし。
高松地方検 察庁	特になし。
香川県 医師会 警察医会	特になし。
香川県 歯科医師会 警察歯科医 会	
香川県 健康福祉部	地方公共団体の取組の指針となるマニュアルは令和3年度のいつ頃示される予定か、また、その内容はどのようなものになるのか。